

かしわ会東京支部長

高橋洋司

謹啓 異常とも思われる猛暑が去った途端、翌日から急に秋が訪れた感じがございませうが、東京北見会の皆様如何お過ごしでしょうか。

私、高橋は昨年十月前任の幸崎支部長の後を引き継ぎかしわ会東京支部の運営をさせて頂いてまいりました。

この一年関東地区の「かしわ会会員の増加」を第一の目標として活動してまいりました。

そのため (1)名簿の整理 (2)各期の幹事さんのご協力を頂き、横の連絡網の活発化を進めてまいりました。(1)名簿の整理は新役員の方々のご努力で随分正確になってきておりました。(2)横の連絡網の活発化も各期の幹事さん達のご協力を得て、以前よりはかしわ会東京支部に対する関心を深めて頂くことができました。

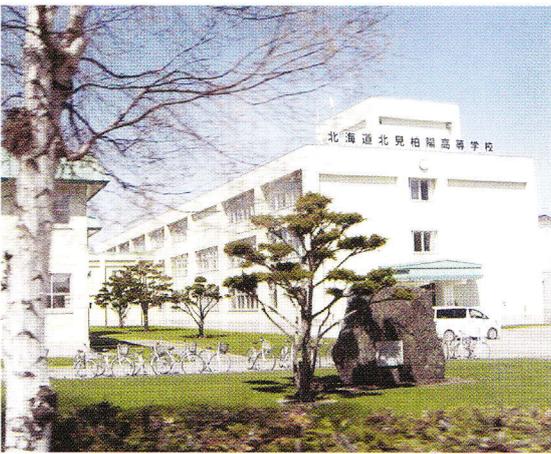
近年、卒業後、北見から東京地区に出てこられる卒業生の方々が減少していると感じております。またそれに加えて、今の時代の若い方々の他人との交わり方が、多様化して、必ずしも、同郷、同窓の方々との仲間意識を強く意識しない傾向にあるとも感じております。

そのような状況下では、会員増加を目指す活動方法はかなり工夫が必要とも感じます。

しかしながら、遠く故郷を離れ、この関東地区にお住まいの多くの北見市出身の皆様が、せめて年に1度懇親会で再会し、懐かしい旧友と楽しく過ごせる機会を今後とも益々盛況にするべく、同じ北見市出身の同郷の友人の集まりであります、貴、東京北見会とかしわ会はお互い手を携えて努力しなければならぬと強く感じております。

末筆ながら、東京北見会の今後の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

謹白



今の柏陽高校です。

北見市観光

「オホーツク北見塩やきそば」

B-1グランプリ入賞!

今年の話題のなかで欠かすことができないのは「第5回B級グルメの祭典! B-1グランプリ in 厚木」において、オホーツク北見塩やきそばが入賞したことではないでしょうか。今大会は、初の首都圏開催となるうえ、24道県から過去最多の46団体の出展があり、九月十八日・十九日の会期中、延べ四十三万五千人の来場者があり、大変な賑わいとなりました。

そのなかで「オホーツク北見塩やきそば」はスタッフ約三十数名を要し、全国のB級グルメ界に風穴を空けるべく果敢に挑み、初出場ながら十位入賞を果たしました。(11位以下は公表されず)しかしながら、今回の結果で一位とはおよそ三倍の票数差があり、来年以降、上位を目指すためには、さらなる知名度の向上や工夫が必要であり、オホーツク北見塩やきそば協議会のメンバーは兵庫県姫路市で開催される来年の大会では、さらに上を目指したいと、早くも戦略を練っております。小谷市長への報告会のなかで、協議会の代表は「料理を出すだけでなく、会



9月の猛暑の中、10位大健闘!!